

令和9年度

学生募集要項

2027

大学院
保健学研究科
(博士後期課程)

保健学専攻

■ 看護学領域

■ リハビリテーション科学領域



藤田医科大学大学院保健学研究科
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

目次

建学の理念	1
概要(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)...	2
1. 募集人員と出願日程	3
2. 出願資格	3
3. 入学資格審査	4
4. 出願手続	5
5. 選抜方法	7
6. 試験日程及び試験会場・入試科目	8
7. 合格発表	8
8. 入学手続	8
9. 学費納入金	9
10. ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度	10
11. 奨学金・経済的支援	10
12. 修了の要件	10
13. 長期履修学生制度	10
14. 学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険	10
15. 昼夜開講による履修及び研究	11
16. 授業科目と担当教員(2027年度予定)...	12
17. 保健学研究科博士後期課程における特別研究の内容(2027年度予定)...	13
18. インターネット出願方法	17
19. 受験者注意事項	20
20. 受験上・修学上の配慮を希望される方へ	21
21. 入試に関する個人成績の開示について	22
22. 個人情報保護について	22
23. 試験会場地図	23
24. 交通案内	24

建学の理念 「独創一理」

独創的な学究精神を堅持して真理を探究し、
おおらかな誇りを持ち、感激性に富む、個性豊かな人格を形成する。

藤田医科大学大学院保健学研究科保健学専攻（博士後期課程） 目的・教育目標

保健学研究科は、高度な知識と科学的思考に基づき、地域保健福祉・医療現場と協働しながら問題が解決できる資質と、高い倫理観を有した高度専門職業人、研究者及び教育者を養成することを目的とする。

（藤田医科大学大学院学則 第1条より）

保健学研究科博士後期課程は、新たな保健学研究の創発を通して我が国の学術研究の発展に貢献し、保健学の状況の変化にも即応できる高度な専門性を有する、地域的、国際的な高度専門職業人、教育者、研究者の育成を目的とする。

（藤田医科大学大学院学則 第3条の2より）

具体的には、高度な知識と科学的思考に基づき、地域保健福祉・医療現場と協働しながら問題が解決できる資質と、高い倫理観を有した高度専門職業人、研究者、教育者を養成する。また、看護学、リハビリテーション療法学を架橋し、既存の学問分野の枠組みを超えた形で分野横断的に専門学術知を融合することで、学際的な視座から多様な問題を解き明かすことのできる能力を修得することを教育研究上の目的とする。

藤田医科大学大学院保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）概要 （学位 保健学）

アドミッション・ポリシー

保健学研究科 保健学専攻博士後期課程においては、次のような人材を求める。

- (1) 保健衛生学を基盤とする各分野において、科学的根拠を探究し、様々な課題を解決するために研究を志す者。
 - (2) 各自の研究テーマに関する新たな知見や技術の開発を通して真理を探究する熱意のある者。
 - (3) 教育者、研究者、高度実践の指導者を目指す志向力のある者。
 - (4) 研究成果を広く社会に発信・実装し、保健衛生学の発展に寄与しようとする意欲の高い者。
- 性、人種、宗教、性的指向、社会経済的地位、身体能力の如何によって、入学に関する優先性が影響されることはありません。

－禁煙への取り組み－ 藤田医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科 保健学専攻博士後期課程にあつては、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得させるために、以下の方針に基づいて、基礎および専門的能力、また各分野の連携・融合を高める講義・演習、および特別研究を体系的に科目配当し、編成している。

- (1) 必修の共通科目は、各分野に共通する重要な保健衛生学の概念を広く学び、教育者、研究者、高度実践の指導者としての学術基盤を育成する。
- (2) 専攻分野に関する科目である特論と演習は、保健医療専門職としての知識や技術をさらに深め、課題探究と解決能力を育成する。
- (3) 特別研究は、先端的新知見の探究や、理論構築及び技術開発における課題の解決を通して、国際誌に投稿可能な論文作成能力を育成する。
- (4) 基礎および臨床研究の知見に基づき、また各分野の連携・融合を通して先進的な理論と実践を創発し、広く社会に発信・実装できる能力を育成する。

ディプロマ・ポリシー

保健学研究科 保健学専攻博士後期課程にあつては、所定の年限以上在籍して、教育の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、論文審査及び最終試験において、以下の能力を身につけていることを学位認定の基準とする。

- (1) 先行研究を基盤として独創的な発想で分析し、問題提起する能力。
- (2) 問題解決に向けて適切な解析方法や分析手法を選択実行する能力。
- (3) 各分野の専門性を高める発見や新たな技法、理論を提案する能力。
- (4) 独創的な学究精神を堅持して真理を探究し、個性豊かな研究を推進する能力。

1. 募集人員と出願日程（外国人特別選抜を含む）

専攻名	募集人員
保健学専攻	6名

外国人特別選抜（英語コース）は秋季入学として募集します。詳細については、別途案内しています（大学院保健学研究科入試係へ連絡してください。）

出願から入学までの日程

事 項	日 程	
	第 一 次 募 集	第 二 次 募 集
入学資格認定申請期間 (入学資格審査の必要な者)	2026年7月27日(月) ～7月31日(金)	2027年1月12日(火) ～1月15日(金)
入学資格審査結果発送	2026年8月7日(金)	2027年1月22日(金)
出 願 期 間	2026年8月10日(月) ～8月21日(金)	2027年1月25日(月) ～2月5日(金)
試 験 日	2026年9月7日(月)	2027年2月15日(月)
合 格 者 発 表	2026年9月18日(金)	2027年2月26日(金)
学 納 金 納 付 期 限	2026年9月25日(金)	2027年3月5日(金)

(注1) 第一次募集で定員が充たされた場合は、第二次募集を行わないことがあります。

(注2) やむを得ない事情により予定通り実施できないと判断した場合には、第一次募集のみ予備日（2026年9月12日（土））に試験を延期することがあります。延期の場合には、ホームページでお知らせします。

2. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 保健学研究科委員会において、個別の資格審査により上記の(1)に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに24歳に達する者

(注) 1. 出願資格(2)(3)(5)(7)のうち、外国人特別選抜（英語コース）については別途ご案内しています（大学院保健学研究科入試係へご連絡ください）。

3. 入学資格審査

入学資格(6)、(7)により出願を希望する者は、入学資格審査が必要となります。**必ず希望する特別研究担当教員(P.13～P.16特別研究の内容参照)と連絡を取ったうえで**、下記要領により必要書類を受付期間内に持参又は郵送し、入学資格審査を受けてください。

なお、本研究科所定の様式(A4サイズ)は本研究科ホームページ(TOP > 学部・大学院 > 保健学研究科 > 入試情報)よりダウンロードしてください。

1) 受付期間

	受 付 開 始 日	締 切 日	備 考
第 一 次 募 集	2026年7月27日(月)	2026年7月31日(金)	郵送の場合も 締切日必着のこと
第 二 次 募 集	2027年1月12日(火)	2027年1月15日(金)	

2) 提出書類

- (1) 入学資格審査申請書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
 - (2) 履歴書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
 - (3) 卒業証明書(2026年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したもの)
 - (4) 成績証明書(2026年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したもの)
 - (5) 職歴にかかわる資格免許証の写し
 - (6) 研究業績調書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
 - (7) 研究歴証明書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
 - (8) 代表的な論文(写し可)
 - (9) 返信用封筒(宛名を明記した定型封筒[サイズ120mm×235mm]に切手760円分を貼付) 速達簡易書留にて審査結果を返信します。
- (注) 1. 成績証明書等に記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。
2. 書類保存期間経過等により(3)または(4)が発行できない場合は、出身学校作成の「証明書を発行できない旨の理由書」を提出してください。(様式任意)
3. 書類を提出するにあたっては、市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に入れ、封筒のおもてに「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。郵送による提出は、必ず「書留速達郵便」としてください(締切日必着)。

3) 書類の提出先・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
藤田医科大学大学院 保健学研究科 入試係(大学3号館1階)
TEL (0562) 93-9080 FAX (0562) 93-4595
土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません

4) 審査結果の通知

審査結果は、郵送により本人宛に通知します。入学資格「有」と認められた者は、P.5～P.7「4. 出願手続」「4) 提出書類」(卒業証明書、成績証明書を除く)を取りそろえ、P.5「1) 出願方法」に従って提出してください。

〈第一次募集〉2026年8月7日(金)結果発送

〈第二次募集〉2027年1月22日(金)結果発送

4. 出 願 手 続

1) 出願方法

- (1) 出願前に必ず希望する特別研究の担当教員（P.13～P.16の特別研究の内容参照）と連絡を取ってください。
- (2) 出願はインターネットで行います。P.17～P.19「18.インターネット出願方法」の手順に従い、必要事項を入力、登録した後、入学検定料を「クレジットカード決済・コンビニエンスストア払い・ペイジー払い（銀行ATM）・インターネットバンキング」のいずれかにてお支払いください。
- (3) P.5「4）提出書類」を市販の角形2号（240mm×332mm）の封筒に入れ、封筒のおもてに「インターネット出願ガイダンス」から印刷した宛名ラベルを貼ってください。
- (4) 出願期間内に大学院保健学研究科入試係まで直接持参または郵送してください。（**締切日必着**）
郵送の場合は必ず「書留速達郵便」としてください。
- (5) 「インターネット出願の登録」「出願書類の提出」「入学検定料の支払い」が以下の期間内に完了していない場合は受験することができません。
- (6) 提出書類の虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

2) 出願期間

	受 付 開 始 日	締 切 日	備 考
第 一 次 募 集	2026年 8 月10日（月）	2026年 8 月21日（金）	郵送の場合も 締切日必着の こと
第 二 次 募 集	2027年 1 月25日（月）	2027年 2 月 5 日（金）	

3) 入学検定料 20,000円

※本研究科修士課程を修了もしくは修了見込の者は検定料不要です。

○ 申込情報の登録期間・入学検定料支払期間

第一次募集 2026年 8 月10日（月）0時00分 ～ 2026年 8 月21日（金）16時59分

第二次募集 2027年 1 月25日（月）0時00分 ～ 2027年 2 月 5 日（金）16時59分

（注）上記の登録期間・支払期間を過ぎると、登録・支払いができません。

4) 提出書類

(1) 出願確認票	本研究科ホームページ（TOP > 学部・大学院 > 保健学研究科 > 入試情報 大学院保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）はこちら）「インターネット出願ガイダンス」から必要項目を選択し、個人情報等を入力後、A4サイズ of 用紙に印刷してください。 なお、「インターネット出願ガイダンス」の詳細についてはP.17～P.19「18.インターネット出願方法」を参照してください。
(2) 修了（見込）証明書	本研究科博士後期課程への出願資格を満たす大学院等の修了（見込）証明書を提出してください（通常は修士の学位を取得した大学院）。なお、証明書は2026年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したものとします。 ○「2.出願資格」（P.3）(2)～(4)に該当する者のうち、学位取得した者 →修了証書の写しでも提出可とします。

(3) 成績証明書	本研究科博士後期課程への出願資格を満たす大学院等の成績証明書を提出してください（通常は修士の学位を取得した大学院）。 なお、証明書は2026年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したものとします。 ○「2.出願資格」(P.3) (2)～(4)に該当する者のうち、学位取得した者 →成績証明書の写しでも提出可とします。
(4) 学位取得証明書	外国の大学院を修了した者は修士相当の学位を取得したことを証明する書類（学位取得証明書等）を提出してください。
(5) 外国語(英語)試験の免除を受けるための証明書類 免除申請者のみ	以下の資格試験のいずれか一つに該当する場合、外国語(英語)試験を免除します。 ○資格試験名（条件） ・TOEFL iBT（63点以上）※ITPは不可 ・IELTS（5.5以上） ・TOEIC L&R（600点以上）※IPテストは不可 該当者は、公式認定証（TOEIC L&RはQRコード付きデジタル公式認定証を印刷したものでも可）、試験成績通知書、いずれかの原本を提出してください（公式認定証、試験成績通知書は証書と異なります。証明書等の発行は、当該資格試験の事務局に問い合わせてください）。 書類の郵送期限は出願期限と同じになります。あらかじめ書類を用意してください。 書類が期限内に提出されない場合は免除申請は受理できません。 ○証明書類の有効期間は定めていません。 ○免除の可否については、結果を試験日前日までに郵送します。 ○受理した証明書類は、いかなる理由があっても返還しません。
(6) 修士論文	修士の学位取得者のみ提出してください。 ・写し可。 ・昨年度以前の修了者は、最近の論文（写し可）をもって代えることができます。
(7) 研究経過報告書	修士の学位取得見込の者は、本研究科所定の様式（A4サイズ）を印刷して、修士論文の研究題目と研究の進捗状況を要約したものを記入してください。
(8) 修士論文要旨	修士の学位取得者は、日本語（4,000字以内）又は英語(1,500語以内)の要旨を提出してください。（A4横書き、自由書式）
(9) 研究計画書	入学後に研究しようとしている内容及びその計画について、本研究科所定の様式（A4サイズ）を印刷し、記入してください。 ※希望する特別研究担当教員と相談のうえ作成してください。
(10) 入学資格審査結果通知書の写し	P.3「2. 出願資格」(6)、(7)により出願する場合は提出してください。
(11) 在留カード、特別永住者証明書の写し	本邦に在留している外国人出願者は、「在留カード」もしくは「特別永住者証明書」の写し（両面カラー）を添付してください。本学に在学中の者も改めて提出してください。

(12) 就学承認書	在職したまま就学しようとする場合は、本研究科所定の就学承認書（A4サイズ）を印刷し、所属長の承認を得た上で提出してください。確認欄にチェックのうえ、提出してください。
(13) 出願書類 チェックリスト	確認欄にチェックのうえ、提出してください。

注1) 成績証明書等に記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。

注2) 書類保存期間経過等により(2)または(3)が発行できない場合は、出身学校作成の「証明書を発行できない旨の理由書」を提出してください（様式任意）。

注3) (7)研究経過報告書、(9)研究計画書、(12)就学承認書、(13)出願書類チェックリストは「インターネット出願ガイダンス」から印刷してください。

5) 願書受付場所・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98

藤田医科大学大学院 保健学研究科 入試係（大学3号館1階）

TEL (0562) 93-9080 FAX (0562) 93-4595

土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません

6) 受験票の印刷

【印刷開始日】〈第一次募集〉2026年8月26日（水）17時00分

〈第二次募集〉2027年2月10日（水）17時00分

受験票は、試験当日必ず持参してください。

●P.19「③受験票の印刷」の手順に従って印刷してください。

5. 選 抜 方 法

学力試験、書類審査及び口述試験、提出書類によって総合的に判定、選抜します。

ただし、学力試験、書類審査及び口述試験いずれかの評価が著しく低い場合は不合格とします。

1) 試験内容

(1) 学力試験

外国語 英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）

(2) 書類審査及び口述試験

書類審査

口述試験 提出した研究計画書をもとに研究計画について6分以内で発表してください。プレゼンテーションを行う際のパソコン等使用機器については、希望する特別研究担当教員と事前に打ち合わせをしてください。HDMIケーブルが使用できないノートパソコンを接続する場合、機器とHDMIケーブルをつなぐ専用の変換ケーブルが必要となりますので持参してください。配付資料については、持参する必要はありません。

2) 外国人特別選抜（英語コース）の試験内容

詳細については、別途ご案内しています

（大学院保健学研究科 入試係へ連絡してください）。

6. 試験日程及び試験会場・入試科目

- 1) 試験日 〈第一次募集〉2026年9月7日(月)
 〈第二次募集〉2027年2月15日(月)
- 2) 集合時間 9時15分
 ※外国語(英語)試験の免除通知があった方は、11時00分までに試験会場1階へ集合して下さい。
- 3) 試験会場 **本学 大学3号館**
- 4) 試験時間

時 間	9:45～10:45	11:15～14:00
試験科目	英 語	口述試験

7. 合 格 発 表

- 1) 発表日
 〈第一次募集〉2026年9月18日(金) 13時頃
 〈第二次募集〉2027年2月26日(金) 13時頃
- 2) 発表場所 本学大学2号館前の掲示板に掲示及び**合格者に限り本人に郵送にて通知します**。合否についての問い合わせには一切応じません。

本学ホームページ(<https://www.fujita-hu.ac.jp/>)にも合格者の受験番号を掲載します。ホームページへの掲載については、情報の安全性に万全を期していますが、データの改ざん、通信上のトラブル、システムの「誤作動」等が発生しても本学は一切の責任を負いません。これはあくまでも合格確認の補助的な手段であり、正式には本学における掲示発表をご確認ください。なお、携帯電話の専用画面は用意しておりません。

ホームページ掲載期間 〈第一次募集〉合格発表日 15時～2026年9月20日(日) 正午
 〈第二次募集〉合格発表日 15時～2027年2月28日(日) 正午

ホームページの掲載は、システム上発表時間が多少前後することがありますので予めご了承ください。また、ホームページ掲載直後は、アクセスが集中し閲覧できないことがあります。その場合、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。

パソコンの設定によっては、最新情報が表示されない場合があります。このような場合にはブラウザの更新キーを押すなどして表示を最新のものとしてください。

8. 入 学 手 続

- 1) 合格者は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って入学手続を完了してください。
- 2) 入学手続要領に示す期限までに入学手続を完了しなければ合格を無効とします。
- 3) 外国人学生の方は、抗体価シート(予防接種歴・罹患歴)の提出が必要となります。抗体価によっては、入学時期に影響することがあります。

9. 学 費 納 入 金

- 1) 納入期限 〈第一次募集〉2026年9月25日(金)*
 〈第二次募集〉2027年3月5日(金)* ※二段階納入方式の1次納入期限

2) 納入額・納入方式

①納入額

入 学 金	150,000円
授 業 料	(年) 750,000円
計	900,000円

②納入方式

二段階納入方式です。

学費納入金〈1次〉は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って納付期限までに納入してください。また、残りの学費納入金〈2次〉は、振込用紙が3月中旬に発送されるので納入期限(3月末日)までに納入してください。〈1次〉〈2次〉共に納入期限までに納入を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

	学納金納入期限〈1次〉	学納金納入期限〈2次〉
振込用紙の発送日	合格発表日	3月中旬
納入額	450,000円	標準履修の場合： 450,000円
	内訳) 入学金 150,000円 学納金 300,000円	内訳) 学納金 450,000円
	※本研究科修士課程を修了し博士後期課程に入学する者は、入学金が不要です。	※長期履修学生制度及び授業料減免制度申請者は、申請が許可されたのち、その決定額に応じた残額の納入となります。
納入期限	上記1)に記載	3月末日

○一旦納入した学費は一切返還しません。ただし、入学手続きを完了した者で、**2027年3月31日(水) 17時00分(必着)**までに入学辞退届(任意作成)を提出し、入学時納付金の返還を申し出た場合には、入学金を除く授業料を返還します。

○学費納入金は、社会情勢によって次の年度に進むとき変更することがあります。

○**本研究科修士課程を修了し博士後期課程に入学する者は、入学金不要です。**

○長期履修学生制度を希望する場合は、P.10を参照してください。

3) 授業料減免制度について

指導教員の下で自らの研究に専念しており、かつ常勤の雇用契約を締結していない学生に対して、授業料を減免する制度を設けています。

授業料の減免が許可された場合には、年額750,000円の授業料を年額450,000円減額し、年額300,000円とします。

10. ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度

1) ティーチング・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の教育業務を補助することにより学部における教育効果を高めることと、大学院学生に教育指導の機会を与え後継者の育成を図るとともに奨学に資することを目的として、ティーチング・アシスタント（T・A）制度を設けています。

2) リサーチ・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の行う学術研究で、かつ創造性に富んだ研究プロジェクト等を補助するため、博士後期課程の在学生によるリサーチ・アシスタント（R・A）制度を設けています。

11. 奨学金・経済的支援

1) 日本学生支援機構：第一種奨学金、第二種奨学金

2) 学校法人藤田学園奨学金、学校法人藤田学園同窓会奨学金など

3) MeRITコースについて

2025年度より、博士課程及び博士後期課程学生の挑戦を支援する「独創力で医療研究の新時代を切り拓く次世代研究者育成プログラム（MeRIT）」を立ち上げ、博士課程に「MeRITコース」を開設しました。本コースでは、多分野（産官学起）で即戦力として活躍する人材を輩出することを目的としています。MeRITコース学生には以下の支援を実施しますので、希望者はMeRITコースホームページに掲載の募集要項を確認し、申請してください。

対象	支援内容
一般大学院生（日本人学生のみ）	研究奨励費 240万円／年、研究費 10万円／年、キャリア支援
社会人大学院生（日本人学生のみ）	研究費 10万円／年
外国人留学生	研究費 10万円／年、キャリア支援

12. 修了の要件

以下の1)～3)をすべて満たすことを修了要件とします。

1) 博士後期課程に3年以上在学し、共通科目の必修科目を4単位及び専門科目の選択科目から指導教員が指定した専門科目を含む10単位以上の合計14単位以上を修得すること。

2) 2年次後期より（長期履修の場合、最終年次前までに）学会発表、学術雑誌への論文投稿に関する指導を受け、3年次（長期履修の場合、最終年次）の博士論文提出までに、学術雑誌に論文1編以上を投稿し採択されること。

3) 3年次（長期履修の場合、最終年次）後期に博士論文を提出し、審査及び最終試験に合格すること。

13. 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の諸事情により、大学院博士後期課程の教育課程を標準修業年限（3年）で履修することが困難な場合、標準修業年限を超えて4年・5年・6年のいずれかで修学することを認める制度です。

学費については、標準修業年限分の授業料を長期履修期間で除した額が年額となります。

14. 学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険

学生が教育研究活動中に被った災害を補償救済するため、(財)日本国際教育支援協会が行っている「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」へ、入学時に全員加入（大学負担）する手続きを行っており、入学後は安心して教育研究活動が可能です。なお、「13.長期履修学生制度」の適用者は大学負担による保険期間は原則標準修業年限までとなります。

15. 昼夜開講による履修及び研究

社会に開かれた大学院教育の実現と社会人に対する再教育への要望から、本研究科では保健学の各分野における高度な知識や技術・研究能力・臨床能力を修得する機会を与えることを目的として、昼夜開講制を採用しています。

昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、現に地域医療に携わっている社会人が大学院の授業・研究指導を受け易くするための制度です。

社会人による入学者を対象に、従来までの第1～5限の他に、第6限（18：00～19：30）、第7限（19：40～21：10）に授業を行うとともに、必要により土曜日、夏季休業期間の集中授業を設定することで便宜を図っています。

2026年度 共通科目 時間割（参考資料）

（前期）

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
1 (9：00～10：30)						
2 (10：40～12：10)						
3 (13：00～14：30)						
4 (14：40～16：10)						
5 (16：20～17：50)						
6 (18：00～19：30)			保健科学概論			
7 (19：40～21：10)						

■ 夜間講座

（後期）

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
1 (9：00～10：30)						
2 (10：40～12：10)						
3 (13：00～14：30)						
4 (14：40～16：10)						
5 (16：20～17：50)						
6 (18：00～19：30)						
7 (19：40～21：10)			保健科学研究論			

■ 夜間講座

16. 授業科目と担当教員（2027年度予定）

*予定であり、変更の可能性あります。

1) 保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）

領域	授業科目の名称	単位数	時間数	担当教員
共通科目	保健科学概論	2	30	金田嘉清 須釜淳子 村山陵子 三浦由佳 櫻井宏明 寺西利生 伊藤慎英
	保健科学研究論	2	30	金田嘉清 須釜淳子 櫻井宏明 寺西利生 村山陵子 山田晃司 稲本陽子 田辺茂雄 武田湖太郎 小野木啓子 中村小百合 世古留美 宮本美穂 三浦由佳 伊藤慎英
看護学分野	保健看護融合科学特論	2	30	須釜淳子 世古留美 村山陵子 中村小百合 竹原君江 林 睦晴 宮本美穂 三浦由佳
	保健看護融合科学演習	2	30	須釜淳子 村山陵子 竹原君江 林 睦晴 中村小百合 宮本美穂 三浦由佳
	保健看護融合科学特別研究	6	180	須釜淳子 村山陵子 竹原君江 林 睦晴 三浦由佳
リハビリテーション療法科学分野	リハビリテーション療法科学特論Ⅰ	2	30	金田嘉清 櫻井宏明 田辺茂雄 西田裕介 伊藤慎英
	リハビリテーション療法科学特論Ⅱ	2	30	金田嘉清 櫻井宏明 田辺茂雄 西田裕介 伊藤慎英
	リハビリテーション療法科学特論Ⅲ	2	30	寺西利生 稲本陽子 小野木啓子
	リハビリテーション療法科学特論Ⅳ	2	30	山田晃司 田辺茂雄 武田湖太郎
	リハビリテーション療法科学演習Ⅰ	2	30	金田嘉清 櫻井宏明 田辺茂雄 西田裕介 伊藤慎英
	リハビリテーション療法科学演習Ⅱ	2	30	金田嘉清 櫻井宏明 田辺茂雄 西田裕介 伊藤慎英
	リハビリテーション療法科学演習Ⅲ	2	30	寺西利生 稲本陽子 小野木啓子
	リハビリテーション療法科学演習Ⅳ	2	30	山田晃司 田辺茂雄 武田湖太郎 上原信太郎
	リハビリテーション療法科学特別研究	6	180	金田嘉清 櫻井宏明 寺西利生 稲本陽子 小野木啓子 山田晃司 田辺茂雄 武田湖太郎 上原信太郎 小山総市朗

17. 保健学研究科博士後期課程における特別研究の内容（2027年度予定）

*予定であり、変更の可能性あります。

1) 看護学領域（看護学分野）

領域	分野	科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
看護学領域	看護学分野	保健看護融合科学 特別研究 須釜 淳子 村山 陵子 竹原 君江 林 睦晴 三浦 由佳	特別研究では、保健看護融合科学のエビデンスの構築、ならびにその社会実装に関する研究を行い、博士論文を作成する。博士論文の作成を通じて、科学者の良心、研究に対する姿勢、独創的な発想、研究のありかたを学ぶ。 教員別研究テーマ < 須釜 淳子 > 1. 慢性創傷、皮膚障害、老年症候群の予防・管理に関わるエビデンスの構築とその社会実装に関する研究 2. 基礎看護技術に関わるエビデンスの構築とその社会実装に関する研究 3. チーム医療における看護の役割と機能に関する研究 < 村山 陵子 > 1. エビデンスのある看護技術の創生と社会実装のためのシステム構築に関する研究 2. 看護技術普及のための教育プログラム開発（教材開発・人材育成を含む）と社会実装に関する研究 < 竹原 君江 > 1. 看護理工学的手法を用いた糖尿病足潰瘍予防ケア・アセスメント技術開発と社会実装に関する研究 2. 臨床における研究シーズからアドバンストな新しい看護ケアを生み出し、社会実装する（広く臨床に還元する）までの一連あるいはその一部に関する研究 3. 看護職の働く環境や教育、患者教育に関する研究 < 林 睦晴 > 1. ER、ICUなど急性期医療における臨床研究 2. 心疾患(虚血性心疾患、心不全、心臓リハビリテーションなど)に対する臨床研究 3. 慢性腎臓病(保存期CKD)に対する臨床研究 < 三浦 由佳 > 1. 摂食嚥下障害の評価・ケアの技術開発と普及に関する研究 2. 誤嚥性肺炎予防のためのアセスメント・ケア技術開発に関する研究 3. イメージング・センシング技術を利用した看護ケアの創出に関する研究

2) リハビリテーション科学領域（リハビリテーション療法科学分野）

領域	分野	科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
リ ハ ビ リ テ ー シ ヨ ン 療 法 科 学 領 域	リ ハ ビ リ テ ー シ ヨ ン 療 法 科 学 分 野	リハビリテーション療法科学 特別研究 金田 嘉清 櫻井 宏明 小山総市朗 寺西 利生 稲本 陽子 小野木啓子 山田 晃司 田辺 茂雄 武田湖太郎 上原信太郎	特別研究では、活動の回復を支援する科学であるリハビリテーションに関わる研究を行う。リハビリテーション教育科学の療法士教育に関する研究においては、チーム医療に貢献でき、高い指導能力を有する理学療法士および作業療法士の養成に向けた教育方法を研究対象とする。リハビリテーションの高度化、患者の要望の多様化を踏まえた、臨床技術教育と臨床実習の構築を検討する。また、臨床実習を効果的に実施するための、実習指導者の養成に関して検討する。さらに、養成校教員と実習指導者との連携を強化した新たな教育指導体制についても検討する。 生体情報・治療システム科学に関する研究においては、生体情報を基に活動・介入・行動変容等、活動障害を対象とした実践科学および嚥下動態の運動学的解析、嚥下機能障害の特定、嚥下手技や練習法の精緻化をはかる。また、高齢化社会において急性期から生活期までシームレスな医療が必要とされている中、高齢者医療を日常生活活動自立度や栄養状態、認知機能、病態の経時的変化と症状改善や治癒予測に関する独創的な発想から研究指導を行う。 運動制御計測科学に関する研究においては、基礎研究から臨床応用まで運動制御、運動学習、リハビリテーション工学に関する研究を行う。具体的には、動作時の姿勢制御、治療的学習、リハビリテーションロボットなどについて疾患モデル動物および模擬患者での基礎的研究、患者での臨床研究を行う。それぞれ専門領域の学会、学術雑誌で発表し、社会に情報発信できる論文指導を行う。 教員別研究テーマ < 金田 嘉清 > 療法士教育に関して、Evidence Based Medicine (EBM) の視点で研究する。加えて社会や街づくり、地域保健に関しても研究する。以下に研究指導テーマを示す。 1. 療法士教育と治療技術に関する研究 2. 療法士の臨床実習指導に関する研究 3. 学生教育、新人理学療法士教育、患者教育に関する研究 4. 療法士における地域貢献に関する研究 < 櫻井 宏明 > 高い技術力、統率力、指導能力をもった療法士教育者の養成に関して研究する。以下に研究指導テーマを示す。 1. 療法士技術の客観的評価に関する研究 2. 実習指導者の養成に関する研究 3. 養成校および実習地の連携教育指導体制に関する研究 4. 理学療法士および作業療法士の治療技術の標準化に関する研究 5. 卒後療法士の生涯学習に関する研究 < 小山 総市朗 > リハビリテーション教育科学に関わる研究を幅広くとらえ、医学教育学や教育工学領域にとどまらず、リハビリテーション評価・治療技術の臨床応用や臨床データの活用、対象者の行動変容に関する研究を行う。以下に具体的な研究テーマを示す。 1. 理学療法士・作業療法士の卒前・生涯教育に関する研究 2. 物理療法（電気、超音波、衝撃波、振動等）に関する研究 3. 脊髄損傷者の立位・歩行再建に関する研究 4. ロボット・ICT の臨床活用に関する研究 5. がん、神経系疾患の臨床データの活用に関する研究 6. 日常の身体活動や運動習慣、治療アドヒアランスに関する研究

領域	分野	科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
リハビリテーション科学領域	リハビリテーション療法科学分野	リハビリテーション療法科学 特別研究 金田 嘉清 櫻井 宏明 小山総市朗 寺西 利生 稲本 陽子 小野木啓子 山田 晃司 田辺 茂雄 武田湖太郎 上原信太郎	< 寺西 利生 > 活動障害を対象とした実践科学であるリハビリテーションの評価・介入は、臨床家および研究者の努力で日々進歩している。また、広く生体情報を解析し、治療に応用する。この特別研究では、活動・介入・行動変容をキーワードとして、博士論文を作成する。その中で、研究テーマの選択、先行研究のレビュー、研究計画の立案、実験、考察という一連の論文作成過程を学ぶ。また、博士論文の作成を通じて、科学者の良心、研究に対する姿勢、独創的な発想、研究のありかたを学ぶ。テーマは以下の4つに集約される。 1. 歩行評価・歩行再建に関する研究 2. 痙縮の定量計測に関する研究 3. 転倒予防・転倒危険度評価・患者マネジメントに関する研究 4. リハビリテーション介入のタイムスタディと帰結に関する研究 < 稲本 陽子 > 「食」を再建する摂食嚥下リハビリテーションに関する研究を行い、博士論文を作成する。嚥下動態の運動学的解析や運動力学的解析にて嚥下の生理の解明、異常所見を引き起こす機能障害の特定、嚥下手技や練習法の精緻化をはかる。この過程をとおり、嚥下動態の解析方法の熟知と限界を理解すると同時に、研究法および論文作成方法、研究倫理を学ぶ。以下に具体的なテーマを示す。 1. 嚥下造影や嚥下 CT を用いた嚥下動態と運動調整理解に関する研究 2. 嚥下造影や嚥下 CT を用いた嚥下練習法の運動学的効果解明に関する研究 3. マノメトリーを用いた嚥下練習法の解明に関する研究 < 小野木 啓子 > 高齢化社会において急性期から生活期まで切れ目のない医療が必要とされている。この特別研究では、高齢者医療をキーワードとして博士論文を作成する。その中で、研究テーマの選択、先行研究のレビュー、研究計画の立案、実験、考察という一連の論文作成過程を学ぶ。また、博士論文の作成を通じて、科学者の良心、研究に対する姿勢、独創的な発想、研究のありかたを学ぶ。テーマは以下の3つに集約される。 1. 高齢者の日常生活活動自立度と介護者の介護負担に関する研究 2. 高齢者の栄養状態とリハビリテーションに関する研究 3. 加齢に伴い変化する認知機能・心理への対応に関する研究 < 山田 晃司 > 骨格筋をはじめとする骨、靱帯、腱、関節などの運動器について肉眼的、組織学的な知識や理論に基づき、臨床においてリハビリを行う治療過程で発生する諸問題、予後の判定などに関して、形態と構造観察に留まらないその機能解析について研究を行い、博士論文を作成する。また、神経性調節及び体液性調節の生体制御分野においても同様に実施する。その中で、研究課題の考案、先行研究の進行状況を明確化、研究計画の立案、実験、考察という一連の博士論文作成過程を経て科学者として研究に対する姿勢、独創的な発想を学ぶ。 1. 疾患モデル動物を用いた基礎研究から人への応用する予防医学的見地からの研究 2. 骨形態計測法のような構造解析方法および体液性因子を生化学的に解析する研究 3. マイオカインに代表される体液性因子による生体制御機構に関する研究

領域	分野	科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
リ ハ ビ リ テ ー シ ヨ ン 科 学 領 域	リ ハ ビ リ テ ー シ ヨ ン 療 法 科 学 分 野	リハビリテーション療法科学 特別研究 金田 嘉清 櫻井 宏明 小山総市朗 寺西 利生 稲本 陽子 小野木啓子 山田 晃司 田辺 茂雄 武田湖太郎 上原信太郎	< 田辺 茂雄 > リハビリテーション療法科学に関わる研究のうち、特にリハビリテーション工学に関する研究を行う。リハビリテーション工学とは、臨床での問題点・要望を基に、現場で役立つ実用的な機器・手法を開発する学問であり、以下に具体的なテーマを示す。 1. リハビリテーション支援機器が利用者の身体機能および認知機能に与える影響 2. 脳卒中・脊髄損傷者のロボット支援歩行練習の有効性 3. リハビリテーション支援機器・生活支援機器の開発 4. 生活支援機器が日常生活活動に与える影響 5. 慣性計測ユニットや筋電図、圧力・力覚センサなどを用いた動作解析 6. 脳卒中・パーキンソン病者における運動療法・物理療法の有効性 < 武田 湖太郎 > リハビリテーション療法科学に関わる研究のうち、計測工学、リハビリテーション工学、神経科学、認知科学を基盤とした以下の計測・評価及び介入に関する研究を行う。 1. 筋活動・脳活動をはじめとした生体計測に関する研究 2. 臨床評価・データベースに関する研究 3. 動作分析手法の開発に関する研究 4. 運動イメージに関する研究 < 上原 信太郎 > リハビリテーション療法科学に関わる研究のうち、実験心理学、システム神経科学、神経生理学的研究手法を基盤とした以下の研究を行う。 1. 運動制御・学習の行動学的特徴理解、および神経生理学的基盤に関する研究 2. 運動機能障害の特徴とその回復過程の理解に関する研究 3. 神経・運動機能の評価手法の開発に関する研究

18. インターネット出願方法

1 出願手続き上の注意

- ①出願書類のうち、「研究経過報告書」、「研究計画書」、「就学承認書」、「出願書類チェックリスト」はインターネット出願ガイダンスの **出願書類** から印刷してください。
- ②出願登録上、一部の文字についてはエラーになる場合があります。
氏名や住所などの個人情報を入力する際に、文字が登録エラーになる場合は常用・当用漢数字を使用して入力してください。
例) 高木→高木 山崎→山崎 (ローマ数字) Ⅲ→(算用数字) 3
(丸数字) ①→(括弧書き数字、全角数字) (1)
合格通知書等に記載される文字は、入力された常用・当用漢数字を用いますので、ご了承ください。

2 インターネット出願の手順

☑手順1➡事前準備

下記①～⑤を準備してください。

①インターネットに接続できるパソコン、スマートフォン、タブレット等

OSやブラウザは、最新の状態にアップデートしておいてください。

なお、「インターネット出願ガイダンス」ページで推奨環境を公開しています。

②メールアドレス

常時利用しているメールアドレスを登録してください。

登録いただいたメールアドレス宛に、入試に関する諸通知が配信されます。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

「出願確認票」や「宛名ラベル」等を印刷する際に必要となります。

学校・勤務先等のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービス等でも構いません。

④「成績証明書」、「修了（見込）証明書」等の出願書類

「成績証明書」、「修了（見込）証明書」等は、準備に時間がかかりますので、時間に余裕をもって準備してください。

⑤顔写真データ

1) スーツ着用、正面上半身（胸から上、顔がはっきりわかるもの）、脱帽、背景無地にて出願時から3か月前以内に撮影した無加工・無修正のもの。

2) 縦横比＝4：3の顔写真データが必要となりますので必ずアップロードしてください。
自撮りは不可（出願時に登録された顔写真は原則学生証に使用します）。

3) データ形式はJPEG（jpeg-jpg）、画像の容量は3MB以内のもの。

☑手順2➡インターネット出願画面へアクセス

藤田医科大学ホームページにアクセスし、保健学研究科 保健学専攻＜博士後期課程＞のページ（TOP＞学部・大学院＞保健学研究科＞入試情報 大学院保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）はこちら）より、「**大学院インターネット出願ガイダンス**」のバナー（リンク）を押してください。

<https://www.fujita-hu.ac.jp/>

藤田医科大学

検索

☑手順3⇒入試情報の入力

試験区分、選抜方法、領域、分野、指導教員等を入力してください。

☑手順4⇒個人情報の入力

個人情報（氏名、生年月日、顔写真データ、住所、電話番号、メールアドレス、出身学校情報等）を入力してください。

- 顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができます。顔がはっきり映るよう適宜調整してください。

☑手順5⇒入力内容の確認

入力した内容に間違いがないか確認してください。登録後は、入力内容の変更はできません。

☑手順6⇒入力内容の確認後、お支払い方法の選択

入学検定料支払い後は、入力内容の変更ができません。入力内容をよく確認し、入学検定料をお支払いください。

入学検定料の支払い方法には、次の3つがあり、個人情報の登録後に支払い方法を選択します。その後、代行会社ペイジェント社の画面に遷移します。

- ①クレジットカード決済は、選択の登録を行うと同時に支払いが決定します。

最後に、**お支払い** のボタンを押してください。

本学の「インターネット出願」ではクレジットカード決済において、「3Dセキュア2.0（本人承認サービス）」を導入しています。クレジットカード決済を選択した場合、取引の不正利用検知・防止のために、登録した氏名、電話番号、インターネット利用環境に関する情報等をクレジットカード発行会社へ提供させていただきます。

なお、クレジットカード決済を選択する場合、事前にクレジットカード発行会社のサイトで「3Dセキュア2.0」の登録を行ってください。「3Dセキュア2.0」の詳細および登録方法は、クレジットカード発行会社にお問い合わせください。

※本人認証サービス3Dセキュア2.0とは、決済時にクレジットカード番号、有効期限等の情報に加え、お客さまがクレジットカード発行会社にあらかじめ登録したパスワードをご入力いただくことでカード会員さまご本人であることの認証を行うサービスです。

対象ブランド：Visa・Mastercard・JCB・Amex・Diners

- ②コンビニエンスストア、ペイジー（銀行ATM）による支払いは、代行会社ペイジェント社の画面に、支払い時に必要な番号が表示されます。

番号は、必ずメモをとるか、画面を印刷してください。最後に、**購入したサイトへ戻る** のボタンを押してください。

- ③インターネットバンキングによる支払いは、登録完了画面から選択後、案内に従ってください。

注）領収書（レシート）、取扱明細書兼領収書等は保管してください。

☑手順7⇒登録完了・検定料の支払い

ここまでの入力で、試験情報、個人情報の入力、検定料の支払いの受付は一旦完了です。

1. 「マイページログイン情報（ユーザID（メールアドレス）、パスワード、整理番号）」を必ずメモ、印刷してください。出願内容の確認、出願確認票・宛名ラベル等の再印刷に必要です。
 2. 検定料の支払い方法でクレジットカード以外を選択した場合は、各（金融）機関で速やかに支払い手続きを済ませてください。
- お支払いの際、入学検定料を支払った整理番号の出願書類しか受理できません。修正等を理由に、新たに登録し直した場合は、整理番号に注意して検定料のお支払いや出願書類の提出等の手続きを進めてください。

☑手順8⇒出願書類の提出（直接持参、郵送）

1. 出願書類をA4サイズの用紙を使用してプリンターで印刷してください（出願書類についてはP.5～P.7「4. 出願書類」「4. 提出書類」を参照してください）。
2. 封筒（角形2号、240mm×332mm）のおもてに宛名ラベルを貼り付け、出願書類を封筒に入れ、大学院保健学研究科 入試係まで書留速達郵便で送付していただくか、直接持参してください（締切日必着）。

③ 受験票の印刷

☑手順1⇒インターネット出願画面へアクセス

- ②インターネット出願の手順の☑手順2と同様の手順で「インターネット出願ガイダンス」の画面にアクセスしてください。

☑手順2⇒ガイダンス画面の「マイページ」へログイン

- ①ガイダンス画面トップの **マイページ** ボタンを押してください。
- ②登録したID（メールアドレス）、パスワードを入力して、**ログイン** ボタンを押してください。

☑手順3⇒受験票の印刷

- 申し込み一覧の各種確認から **受験票** ボタンを押し、表示される受験票を印刷してください（大学から郵送することはありません）。
- 印刷した受験票は、受験及び入学手続の際に必要なため、各自大切に保管してください。

19. 受験者注意事項

- 受験の際は、必ず受験票を携帯してください。
- 試験開始後20分以上遅刻した者は試験室に入ることできません。
- 試験時間中机の上に置けるものは、受験票、英語辞書（電子辞書は除く）、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、鉛筆削り、眼鏡、ハンカチ、目薬、時計（計算・辞書機能等がついている多機能時計を除いた、時計機能のみの腕時計及び小型の卓上時計）、ティッシュペーパー（袋から中身だけを取り出したもの）です。これ以外の使用は認めません。
（多機能時計、スマートフォン、スマートグラス、携帯電話、音の出る機器、イヤホン、耳栓、下敷き、ペンケース、定規類、シャープペンシルの芯ケースの使用は認めません。）
- 試験会場では、スマートフォン及び携帯電話は、電源を切ってカバンの中に入れてください。
（試験時間中、スマートフォン、スマートグラスや携帯電話等の電子機器類を使用した場合は、不正行為と見なします。また、身につけていたり手元にあった場合、使用の有無にかかわらず不正行為となることがありますので、注意してください。）
- 受験当日は、昼食を持参してください。
- 時計を持参してください。なお、アナログ式腕時計を推奨します。（多機能のもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは認めません。）
- 試験室の入室は8時45分から可能です。
- 試験会場の下見については、建物内への立ち入りはできません。会場までの交通機関、道順、所要時間、建物の位置の確認に留めてください。
- 急な病気等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、事前に連絡してください。
身体上の障がいや疾病等により、受験・修学に際し特別措置を希望する場合は、事前相談が必要です。出願締切日の2週間前までに大学院保健学研究科 入試係まで申請してください。詳細はP.21「20.受験上・修学上の配慮を希望される方へ」を参照してください。
- 試験当日は原則、公共交通機関を利用してください。その際、降雪等による交通機関への影響などに留意し、遅刻しないように十分注意してください。
- 試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症にかかった場合の対応等について

- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として入学検定料の返還は行いません。
- なお、感染症の感染状況によっては記載されている試験内容と異なる方法で選抜を実施することがあります。変更が生じた場合は本学のホームページにて随時公表いたします。

20. 受験上・修学上の配慮を希望される方へ

本研究科に入学を志願される方で、障がいや病気、負傷等のために受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、出願の前に以下の手順により事前相談・配慮申請を行ってください。

〈事前相談・配慮申請の流れ〉

(1)電話による申込

あらかじめ下記の入試係まで電話（0562）93－9080 による申込を行ってください。

- 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、事前相談をしてください。

(2)申請書類の提出

各試験区分の出願締切日の2週間前までに下記の入試係まで申請してください。

- 本研究科ホームページ（TOP > Menu > 学部・大学院 > 保健学研究科 > 入試情報 保健学専攻（博士後期課程）はこちら）にアクセスし、所定用紙（受験・修学上の特別な配慮申請について）から書式をダウンロードし、必要事項を記入してください。また、添付資料として「医師の作成した診断書の写し」、「身体障がい者手帳の写し（※該当者のみ）」を準備し、一緒に提出してください。

(3)配慮事項決定通知について

- 提出された申請書類に基づき、申請内容を精査し、措置の可否や配慮事項等の内容を決定後、配慮事項決定通知書を送付します。出願は本研究科からの通知を受けた後という手順となります。決定に時間を要する場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。
- 配慮内容によっては、入試係より連絡することや事前に面談を行なうことがあります。
- 出願書類を提出する際、本研究科が送付した「配慮事項決定通知書」のコピーを同封してください。

- (4)不慮の事故や急な発病等のために、申請期限までに申請ができなかった場合についても、可能な限り入試係まで電話連絡してください。

注意 入学試験の実施形態や配慮希望内容によっては、あるいは申請期限後に申請した場合、希望通りの配慮が行えないことや代替の配慮を行うことがありますので、予めご了承ください。

(5)配慮申請受付場所・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98 大学3号館1階

藤田医科大学大学院 保健学研究科 入試係 受験・修学上の配慮申請担当

（月～金）9：00～17：00

土曜・日曜・祝日・開学記念日（10/10）など学内休日・年末年始（12/29～1/3）は受け付けていません。

TEL：（0562）93－9080

21. 入試に関する個人成績の開示について

入学試験（学力試験）の個人成績について、受験生本人（不合格者に限る）から申請があった場合に限り次の要領で開示します。

1) 開示内容

学力試験（科目別）の得点、平均点

2) 申請期間

2027年5月3日（月）～2027年5月14日（金）

申請期間内の消印があるものに限り受け付けます。なお、開示は2027年6月7日（月）からとします。

3) 申請書類

(1) 学力試験個人成績開示申請書（本研究科ホームページよりダウンロード）

(2) 受験票（コピー不可）

(3) 返信用封筒

宛名を明記した**定形封筒**（サイズ120mm×235mm）に切手460円分を貼付してください。
簡易書留にて返信します。

4) 申請先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地98

藤田医科大学大学院 保健学研究科 入試成績開示係（大学3号館1階）

(注)1.申請に際して、本人確認のため受験票が必要になりますので、大切に保管してください。

受験票を紛失した場合は、如何なる理由でも開示しません。

2.受験票は成績に同封して返却いたします。

22. 個人情報保護について

個人情報保護に関して、藤田医科大学大学院保健学研究科では次の通り扱います。

1) 利用目的

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、次に掲げる目的のみに利用します。

(1) 入学者選抜、合格発表、入学手続等、入学までの一連の業務を行うため

(2) その他、本大学院の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため

2) 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることとします。

(1) 本学大学院保健学研究科入学者について、名簿作成及び各種連絡通知等に使用するために藤田学園の同窓会等に提供する場合

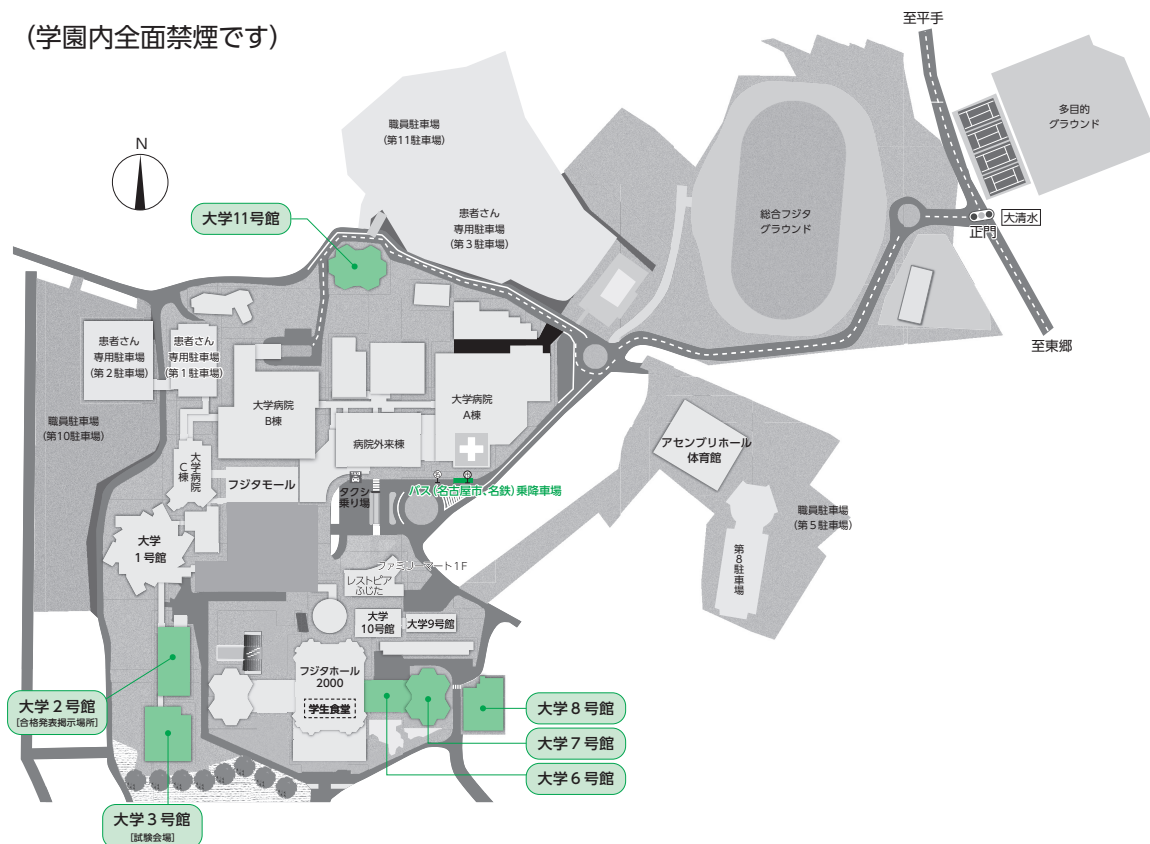
(2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合

(3) クレジットカード発行会社が行う不正利用検知・防止のために、氏名、電話番号、emailアドレス、インターネット利用環境に関する情報等を、クレジットカード発行会社へ提供する場合（利用されているカード発行会社が外国にある場合、これらの情報は当該発行会社が所属する国に移転される場合があります）

23. 試験会場地図

試験会場：本学 大学3号館

(学園内全面禁煙です)

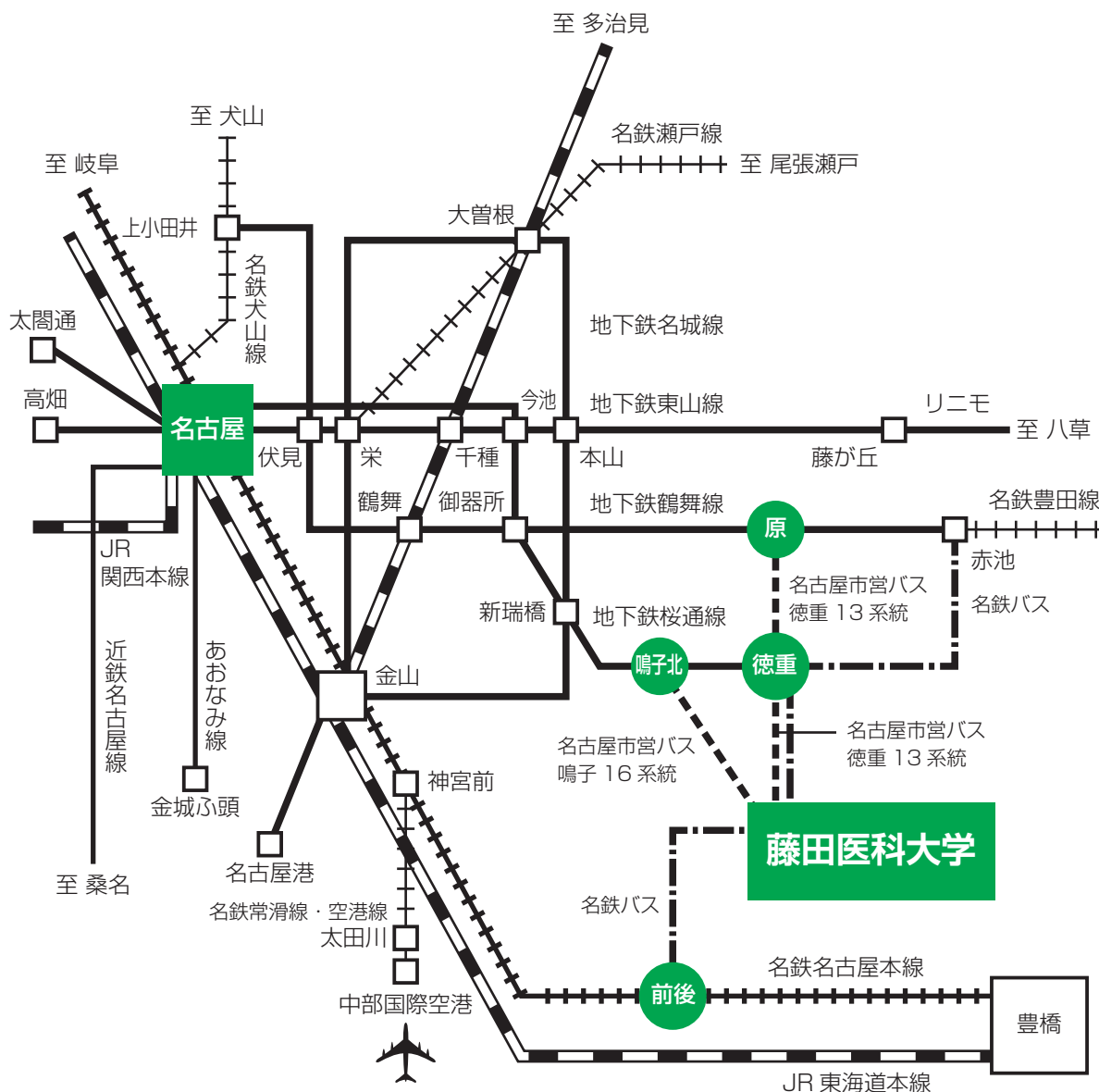
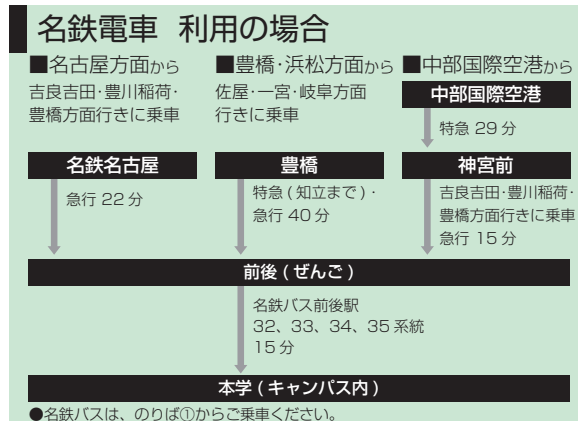
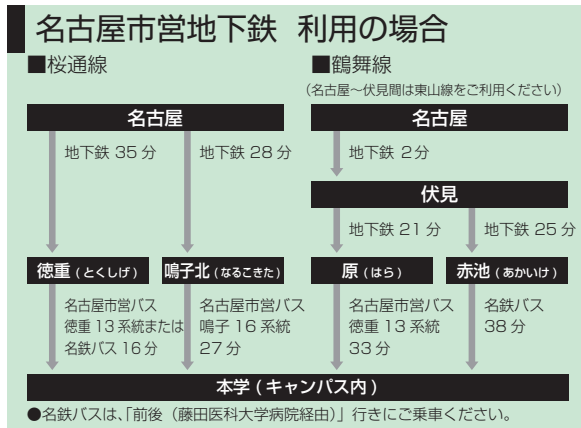


試験当日は、会場案内に従って、指定の校舎で受験してください。

- 試験当日は、学内が混雑しますので公共交通機関でお越しください。
学内には受験生用駐車場はありません。

24. 交通案内

公共交通機関でお越しの方は



FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

2027



藤田医科大学大学院保健学研究科
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

入 試 係 TEL:0562-93-9080 FAX:0562-93-4595

(土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません)